

4 雪寒補第 1 号

ロータリ除雪車 購入（2.6m、220kW級）仕様書

令和 4 年度 魚沼市

概 要

この仕様書は、ロータリ除雪車（2.6m、220kW級）に適用するもので、納入機は下記に定める性能、諸元、各部構造その他を満足するほか、道路除雪作業の使用に耐え得る十分な耐久性、信頼性と、良好な操縦性能を有するものとする。

納入機は運輸省令昭和26年第67号（以降の改正分を含む）「道路運送車両の保安基準」に適合するものでなければならない。

ここに明記されていない箇所については魚沼市長（以下「発注者」という）と物品供給人（以下「受注者」という）が協議のうえ決定するものとする。

使用目的

ロータリ除雪車は、降積雪時における道路交通の確保を目的として、走行しながら雪堤を切り崩し、掻き込んだ雪を遠方へ投雪する機械であり、山間部の拡幅除雪及び春山除雪の主力機種であるとともに、市街地の運搬排雪にも使用する。

1. 納入場所

魚沼市根小屋除雪機械格納庫

2. 納入期限

令和5年3月15日まで

3. 性能（JIS D6509 性能試験）

- (1) 最大除雪量 2,700 t/h 以上
- (2) 投雪距離 0～35 m 以上
- (3) 最大除雪幅 2,600 mm
- (4) 最大除雪高 1,500 mm 以上
- (5) 走行速度 40 km/h 以上
- (6) 運転室内騒音レベル

「騒音障害防止のためのガイドライン」（厚生労働省 平成4年10月1日、基発第546号）第I管理区分に準ずる。（測定方法は、JCMAS H011の機械定置時による）

4. 除雪装置

- (1) 形 式 ツーステージ形、ロータリ除雪装置
- (2) 構 成 オーガ・ブロワ・放出角可変型ブロワケース・伸縮起倒式シュート
- (3) 能 力
 - ブロワ放出角度 右35～左60度 以上
 - シュート旋回角度 340度 以上

シュート高さ	4,000 mm 以上
昇降範囲	地下 100mm～地上 300mm 以上
チルト角度	左右各 4 度 以上
シュー	除雪装置の接地状態を調整できるシューを有すること
安全装置	(オーガ) シャーピンレス装置 (ブロワ) シャーピン式 除雪装置を停止させる安全装置を備えるものとする。

(4) 操作方式 ジョイスティックレバーによる操作

5. 主要諸元

- | | |
|-------------------|--------------|
| (1) 全長 (走行姿勢) | 8,500 mm 以下 |
| (2) 全幅 (除雪装置含む) | 2,650 mm 以下 |
| (3) 全高 (黄色灯火上端まで) | 3,800 mm 以下 |
| (4) 最低地上高 | 250 mm 以上 |
| (5) 車両総質量 | 20,000 kg 以下 |

なお、「7. 付属装置及び付属品 7-2 車両総質量に含まないもの」以外は、本車両総質量に含むものとする。

- | | |
|----------------------|----------|
| (6) 最小回転半径 (最外側車輪中心) | 8.0 m 以下 |
| (7) 乗車定員 | 2 人 |

6. 車体

- | | |
|------------|------------------------|
| (1) 機関 | |
| 形式 | 水冷、ディーゼル機関 |
| 定格出力 | 220kW 以上 |
| (2) 駆動方式 | |
| 形式 | 総輪駆動式 |
| (3) タイヤ | |
| 形式 | スノータイヤ又はスタッドレスタイヤ |
| (4) 走行装置 | 後車軸もしくは前後車輪に懸架装置を有すること |
| (5) かじ取り装置 | |
| 形式 | 油圧式車体屈折機構式 |
| (6) 運転室 | |
| 構造 | 全鋼製密閉形 |
| 窓 | (前、後) 冬用ワイパーブレード付 |
| ハンドル位置 | 左ハンドル |

7. 計器類

(1) 運行記録計	1 式
(2) 機関回転計（運行記録計組込型も可）	1 式
(3) 燃料計	1 式
(4) アワーメータ	1 式
(5) 油圧計又は油圧警告灯（走行用油圧回路補給用）	1 式
(6) 油温計又は油温警告灯（走行用油圧回路用）	1 式
(7) 水温計	1 式
(8) 充電警告灯	1 式
(9) 機関油圧計又は機関油圧警告灯	1 式

8. 照明装置類

(1) 前部霧灯又は前部作業灯	2 灯
(2) 黄色灯火（散光式）	前 全幅 500mm 以上 1 式
	後 全幅 1,100mm 以上 1 式
(3) シュート作業灯	1 灯以上
(4) 後方作業灯	1 灯以上
(5) 大型後部反射器	1 式

9. 付属装置及び付属品

9-1 車両総質量に含むもの

(1) バックブザー	1 式
(2) カーヒータ	1 式
(3) ウインドウオッシャー（前面、電動式）	1 式
(4) 標識板（300×570mm 以上、車体後部取付）	1 式
(5) アンダーミラー（後）	1 式

9-2 車両総質量に含まないもの

(1) 標準付属工具	1 式
(2) 取扱説明書	1 式
(3) 部品表	1 式
(4) 履歴簿	1 式

10. 塗装

国土交通省建設機械塗装基準による。

11. 検査

完成検査は、寸法、外観、溶接、その他組立状況を検査し、さらに車両や作業装置

類の動作等の確認を行い全般的な機能を検査する。

ただし、車両総質量については、本仕様書で定めたとおりであるかを、その内訳が判る資料により検査する。

検査に要する器具、人員等は受注者において準備するものとする。

1 2. 保証

納入後 1 箇年以内に設計製作上の欠陥によるものとみなされる故障が発生した場合には、受注者は無償修理を行わなければならない。ただし、製作会社等が別に定めた保証期間が 1 箇年以上にわたる場合にはそれを適用する。

特に重大な故障が発生したときは、上記期間経過後であっても、発注者と受注者が協議のうえ、受注者に無償修理を行わせることがある。

1 3. その他の事項

1 3-1 製造期日等の指定について

納入機は 2 0 2 2 年度製の新品でなければならない。

1 3-2 灯火の取付方法の指定

黄色灯火の取付方法は、次のとおりとする。

イ) 黄色灯火の規格、取付位置については、「道路維持作業用自動車及び道路管理用緊急自動車の取扱について（昭和 55 年 6 月 5 日付け、建設省機発第 473 号（以降の改正分を含む）」に準じるものとする。

ロ) 黄色灯火は、運転室又は作業装置上部に堅固に取付け、黄色灯火の重量、振動に耐えるよう取付部分に必要な補強を行うものとする。

1 3-3 提出図書の言語の指定

取扱説明書など提出を義務付けられた図書に使用する言語は、日本語とする。

1 3-4 緩和申請等について

本履行にあたり、車両登録、基準緩和の申請及び道路維持作業車の申請・届出については受注者が行うものとする。また、これらにかかる費用は受注者の負担とする。

ただし、これにより難しい場合は発注者の指示を受けるものとする。

1 4. ロータリ除雪車（2. 6 m、2 2 0 k W級）オプション装備

1 4－1 除雪装置

- | | | |
|-----------------|-----------------------|---------|
| (1) 油圧式チップバック装置 | 傾斜角度 | 3 度以上 |
| (2) 雪切板 | ロング固定式、高さ 2, 500mm 以上 | 左右各 1 本 |

1 4－2 車体

- | | |
|---------|----------|
| (1) タイヤ | 後輪ダブルタイヤ |
| (2) 運転室 | 窓（前）熱線入り |

1 4－3 照明装置類

- | | |
|-------------|-------|
| (1) キャブ上作業灯 | 1 灯以上 |
| (2) ステップランプ | 1 式 |

1 5. 付属装置及び付属品

- | | |
|--------------------|-----|
| (1) タイヤチェーン | 1 式 |
| (2) 床マット | 1 式 |
| (3) バックカメラ及びバックモニタ | 1 式 |
| (4) シガーソケット | 1 式 |